

第 710 回 化学・物質工学セミナー開催のお知らせ

化学・物質工学コースでは企業等で開発・研究に携わられている方をお招きして、卒業研究着手者への特別講義をご担当していただいております。今年度、新たに大阪ガス(株)越後先生にご担当いただくことになり、一講分を教職員、院生も対象とするセミナーとして開講させていただきます。

越後先生は、家庭用燃料電池システム(エネファーム)の実用化に携われ、文部科学大臣発明奨励賞も受賞されておられます。システムに合わせた各要素技術の最適化など、大学では触れる機会が少ない新製品開発にまつわる話などをしていただく予定です。ご多用のことと存じますが、多くの皆様のご聴講をお願いいたします。

日時 令和元年 7 月 29 日(月) 14:30~16:00

場所 長崎大学文教キャンパス 工学部 2 号館 21 番講義室

講演者 越後 満秋 先生(大阪ガス株式会社 エネルギー技術研究所 部長, エネルギー変換デバイスチームマネージャー, 博士(工学))

講演題目「燃料電池用燃料水素製造技術について」

概要: 燃料電池の燃料ガスとなる水素の製造技術について、従来のリファイナリー分野などで確立された炭化水素類の水蒸気改質による水素製造技術(触媒技術)を燃料電池システム向けに適用するための課題とこれまでに燃料電池システム用に実用化された水素製造触媒技術(小型水素製造装置)を紹介する。

セミナー世話人 山田博俊
h-yama@nagasaki-u.ac.jp